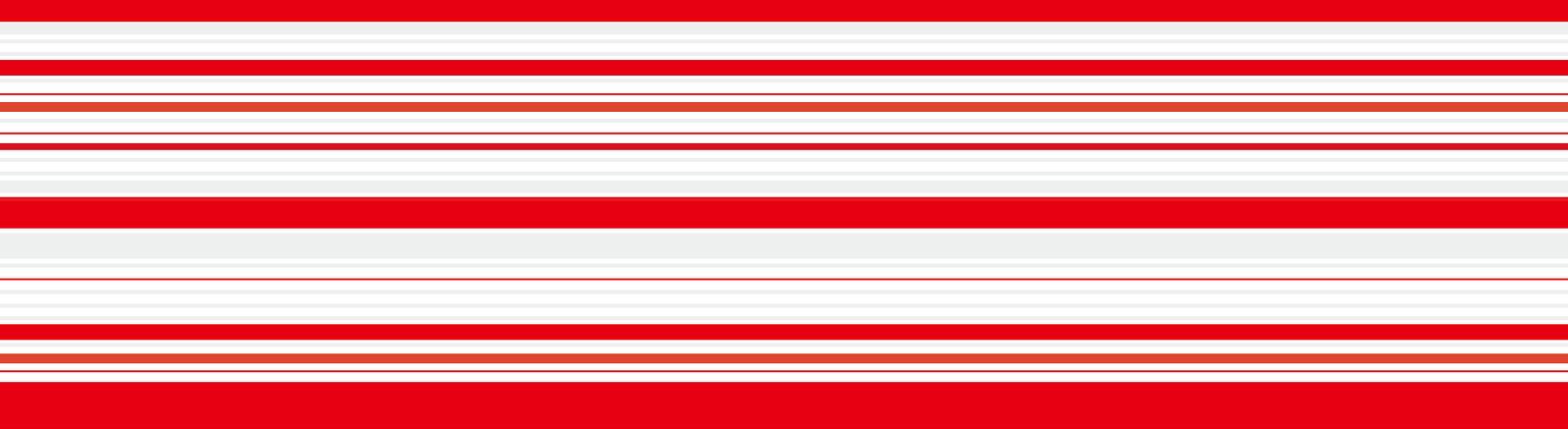


2011 KAJIMAROAD CSR REPORT CSR報告書

A series of horizontal stripes in red and white, consisting of multiple thin lines and thicker bands, spanning the width of the page.

02 社長メッセージ

特集

04 鹿島道路は、まちをつくり、暮らしを支えています

06 社会に貢献する鹿島道路の技術

08 鹿島グループが実践するCSR

5つの基本姿勢

10 コンプライアンスの徹底

12 働くことに誇りを持つ会社

13 地域社会との共生

14 地球環境保全と環境創造

16 ステークホルダーとのコミュニケーション

18 第三者意見

19 会社データ

Message

2011年3月11日に発生いたしました『東日本大震災』におきまして、多くの犠牲になられた方々のご冥福と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。引き続き鹿島道路は、BCPに則り、社員一丸となって災害復旧に向け積極的に取り組んでまいります。

鹿島道路は、これまで舗装関連工事を中心に人々の生活と密接にかかわり、道路をはじめ数多くの社会資本整備に携わってまいりました。これからも、お客様との信頼関係を大切にし、良質で環境にやさしい製品やサービスを提供すると共に、企業の社会的責任を十分に果たしていくことで、社会と共に発展して参りたいと考えております。

鹿島道路の企業理念であります『新しい価値創造に挑戦し、人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する』のもと、鹿島グループの一員として皆様に信頼され、社会に貢献できる企業を目指して参りますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

滝田 裕久

Mission

新しい価値創造に挑戦し、
人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する

Vision

道からはじまる未来創造企業



鹿島道路は、まちをつくり、暮らしを支えています

鹿島道路の持続可能な社会づくり

わたしたちは、長年培った舗装技術をコアとして、「新しい価値創造に挑戦し、人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する」という企業理念のもと、道路のみならず、空港や港湾、橋梁やダムなど、社会や人々の生活を支えるインフラや建物・サービスをこれからも提供し、安全・安心・便利・快適で持続可能な社会づくりに貢献しています。



① 道路

道づくりのプロフェッショナルとして、高速道路から一般道路まであらゆる道路の建設に取り組んでいます。



主な実績 第二東名高速道路、中央自動車道、伊豆縦貫自動車道

② ダム・貯水池

水をため、また有効に活かすため、ダムや堤防などの水利構造物には、遮水のため特殊なアスファルト舗装技術が採用されています。



主な実績 小丸川上部ダム調整池、沼原調整池

③ 空港・港湾

グローバル化の進む中、物流・旅客輸送が安全に円滑に行われるためには空港・港湾整備は不可欠です。空港・港湾整備に鹿島道路の舗装技術が採用されています。



主な実績 東京国際空港、新東京国際空港、中部国際空港

④ 橋梁

橋梁舗装から橋梁の維持・補強まで鹿島道路の建設資材から特殊技術まで幅広く採用されています。



主な実績 本州四国連絡橋、横浜ベイブリッジ、スエズ運河橋

⑤ 公園・広場

人々が集い憩いの場として利用される施設や場所の建設に鹿島道路の技術力で、快適にそして安心・安全な空間作りをお手伝いしています。



主な実績 松原湖遊歩道、福岡富士吉田恩賜林庭園
アイランドシティ、

⑥ スポーツ施設

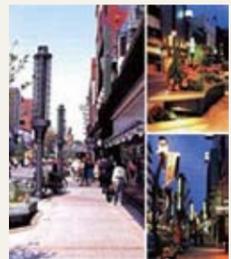
プロスポーツから市民スポーツ施設まで、目的・種類・内容に合った空間を特殊工法や施工システムでお手伝いしています。



主な実績 新潟スタジアム、フルキャスト宮城、大阪万博公園アメフト場

⑦ 商店街モール

商店街モールやコミュニティ道路など人々の生活基盤となる施設の整備を通じて、快適で魅力ある街づくりをお手伝いしています。



主な実績 浅草オレンジ通り商店街、尾道本町センター街

⑩ 環境事業

環境汚染や土壌浄化への関心が高まる中、油含有土壌の熱処理に着目し、ドラムソイル工法を確立し、土壌浄化事業を展開しています。また、浄化処理した土壌のリサイクルにも取り組んでいます。

主な施設 油含有土壌処理プラント(ソレック栃木)



⑨ 製品事業

全国にCO2削減による環境へ配慮したアスファルトプラントや中間処理施設を設け、良質のアスファルト混合物の供給や、循環型社会への取り組みとしてリサイクル事業を展開しています。

主な施設 アスファルトプラント(栗橋合材製造所)



⑧ 建築

物流・運輸施設、医療・福祉施設など幅広い施設の建築を、開発・造成・道路・植栽などの周辺整備から設計・施工までを行っています。



主な実績 東洋大学板倉キャンパス、市川市二俣新町プロジェクト

社会に貢献する鹿島道路の技術

KSボンド工法

KSボンド工法は、供用後経年変化と共に疲労・老朽化した構造物を、鹿島道路が開発した高耐久型エポキシ樹脂接着剤(KSボンド)を使用し、既設構造物とフレッシュコンクリート(固まっていないコンクリート)を接着し一体化することにより補修や補強を行う工法です。

KSボンド工法の開発により、日本全国に張り巡らされている道路網の要である橋梁など、過酷な使用条件に曝され続ける土木構造物を、スクラップアンドビルドよりも環境負荷の少ない補修・補強工法によって長寿命化することが可能になりました。

これまでKSボンド工法は、コンクリート床版橋梁や空港のコンクリート舗装などのコンクリート構造物のみならず、材料特性の異なる鋼床版橋梁の疲労損傷対策工法に採用されています。

今後も社会のニーズに応えるべく、更なる用途の拡充を目指して研究開発を行っていきます。

お問い合わせ先：技術部 03-5802-8014



鋼床版上SFRC(鋼繊維補強コンクリート)補強工法



接着接合型コンクリート床版上面増厚工法

その技術を支える技術① KSボンド

KSボンドは鹿島道路が企画・開発を行い、製造・販売している接着剤で、水浸輪荷重走行試験や温水暴露試験(JIS K6857条件E)などにより、土木構造物の過酷な使用環境において、必要な付着性能を有していることが確認されている土木用高耐久型エポキシ樹脂接着剤です。

お問い合わせ先：(株)エコロードコンサルタント 0424-90-4791



KSボンド



KSプライマー

その技術を支える技術② ラインリーダー

舗装工事において正確な仕上がり高さを得るために、基準線としてセンサワイヤを設置し、施工機械の制御を行っています。センサワイヤの設置作業は、設置から撤去まで手間のかかる作業ですが、鹿島道路が開発したラインリーダーはこのような設置作業の省力化を可能にし、また、ワイヤ架台などの廃棄物削減を可能にした画期的な装置です。

ラインリーダーはワイヤなどの仮設を必要とせず、側壁などに記したラインを光学センサに連続的に読み取らせて画像処理することにより、基準線として使用出来るようにしたものです。

お問い合わせ先：機械部 03-5802-8015



ラインリーダーによる施工状況



ラインをピーク値として認識する

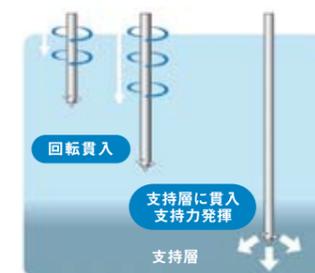
エコロックパイル工法

エコロックパイル工法は鋼管杭先端にらせん翼を設け、回転によって杭を貫入させる回転貫入鋼管杭工法です。従来技術の課題であった振動・騒音問題あるいは掘削残土処理の問題を解決し、さらに狭隘地や上空制限敷地での施工や近接施工を可能にしました。また、杭の引き抜き撤去が容易であることから、杭材の再利用が可能なことなど、環境にやさしい工法です。これまで、戸建住宅、低層集合住宅・中層商用ビルの基礎、タンク・機械基礎、工場・店舗・風力発電設備等の基礎、L型土留擁壁・バリアフリーエレベータ・大型看板・鉄塔等の基礎など多方面で使用されています。

お問い合わせ先：EP事業部 03-5802-8046

特徴

- ☑低振動・低騒音かつ無排土施工であるため、環境負荷が大幅に低減できるとともに、セメントミルクや水等を使用しないので、土壌汚染や地下水汚染等の環境汚染が発生しません。
- ☑先端支持力度が従来技術に比べて格段に向上するため、杭本数の低減によるコストダウン及び残土処理不要によるコストダウンが期待できます。
- ☑狭隘地での施工が可能です。
- ☑機械式継手(無溶接)の使用により火気厳禁場所での施工も可能です。



杭の貫入・支持機構

先端部分に切刃とらせん翼を取り付けた鋼管杭を回転させ、土砂を杭側面に押しながら、所定の支持地盤に貫入させる工法です。



狭隘箇所での施工状況(上空3.0m、離隔0.5m)



杭先端の切刃とらせん翼

2WAYエコショベル

鹿島道路は日立建機と共同で、電動式ショベル“2WAYエコショベル”を開発しました。この電動ショベルは、使用環境に応じて商用電源と新開発のリチウムイオンバッテリーの使い分けが出来る機構を採用しており、ディーゼルエンジン仕様の従来機と変わらない操作性を確保しています。この2電源方式による建設機械は世界でも類を見ず、超低騒音型建設機械の騒音レベルを大きく下回る静穏化とCO₂の発生が全くないという環境性能を実現しました。現在2台の実用機を工事現場に投入し、実使用状況下で操作性、耐久性、安全性などの評価を行っています。

お問い合わせ先：機械部 03-5802-8015



住宅街の建築外構工事での使用状況(1号機)

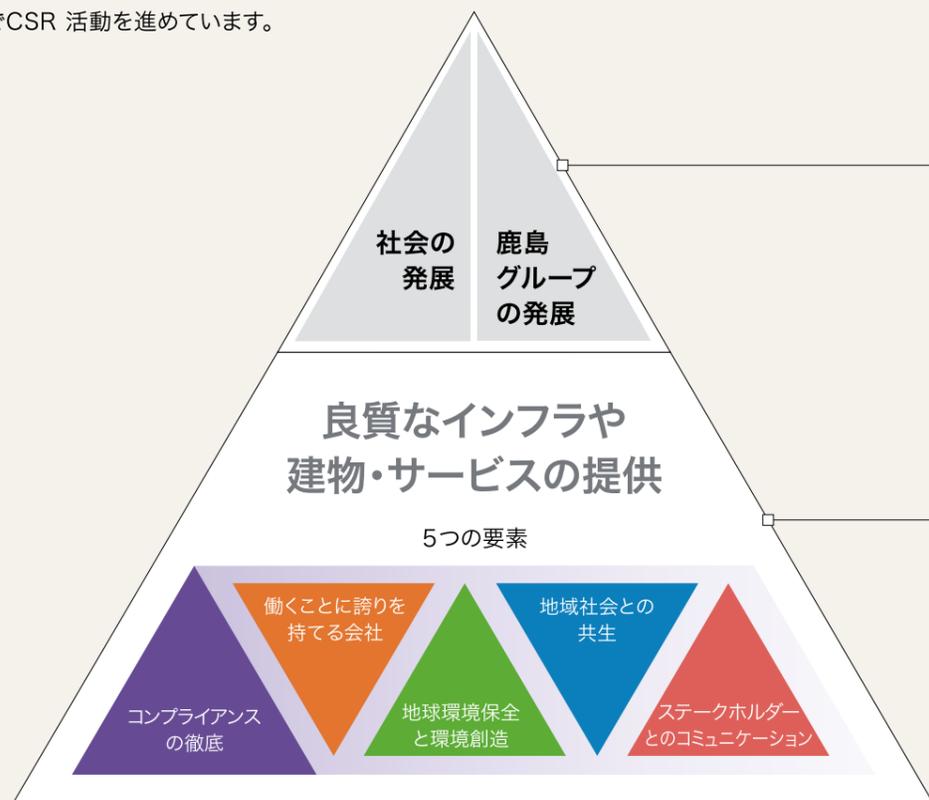


市街地の道路工事での使用状況(2号機)

鹿島グループが実践するCSR

鹿島グループのCSRの枠組み

鹿島は「社業の発展を通じて社会に貢献する」という経営理念に基づいて「CSRの枠組み」を定め、グループ全体でCSR活動を進めています。



鹿島グループ企業行動規範

1 | 公正で誠実な企業活動

- 1 法令の遵守と良識ある行動
- 2 社会のニーズと顧客満足の重視
- 3 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引
- 4 知的財産、その他の権利・財産等の保護
- 5 政治・行政との透明な関係
- 6 反社会的行為の根絶
- 7 企業会計の適正性確保

2 | 社会との調和

- 1 社会との良好な関係の構築
- 2 あらゆる国、地域における文化、慣習の尊重
- 3 適時、適切な開示とコミュニケーション

3 | 人間尊重

- 1 差別や不当な取扱いの禁止
- 2 安全で働きやすい職場環境の確保
- 3 能力、個性を尊重した人事処遇、人材育成
- 4 児童労働・強制労働の禁止

4 | 環境への責任

- 1 環境問題への取り組み

5 | 企業行動規範の運用

- 1 教育と啓蒙
- 2 実効ある社内体制の整備

6 | 違背する事態が発生した場合

- 1 再発防止と説明責任
- 2 厳正な処分

鹿島グループ企業行動規範の詳細はwebページをご覧ください。

CSRの目的

鹿島のCSRの本質は、社会や時代の要請に応え、公正な企業活動を通じて多様なステークホルダーと良好な関係を築き、保っていくことと考えています。建設業の成果は長い期間にわたって、直接社会や人々の生活を支えるものであり、社会や顧客の永続的な信頼のもとに、社会の持続的な向上と建設業、ひいては当社の安定的な発展を共存させていくことが、鹿島のCSRの実践で目指すものです。

CSRの基本

「CSRの目的」を果たすためには、何よりもまず高い企業倫理と強い使命感に貫かれた誠実な企業であるとともに、たゆまぬ研鑽による高度な技術力をもとに、良質なインフラや建物・サービスを提供し続けることが肝要です。社会や顧客からの信頼の基盤は確かな品質にあります。「良質なインフラや建物・サービスを提供」によって信頼を築き、社会への貢献と、顧客の利便・快適・安心の充足を通じて永続的な評価を受けることが、鹿島のCSRの基本です。

鹿島道路のCSR活動

鹿島道路の企業理念である「新しい価値創造に挑戦し、人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する」のもと、公正で開かれた企業を目指し、良質かつ適正な価格で社会資本の整備を担っていく事をCSRの基本としています。

鹿島道路のCSR活動方針

- (1)「お客様本位」と「品質本位」を第一義とする
- (2)「鹿島グループ 企業行動規範」の順守をすべての企業活動の大前提とする

「CSRの基本」を織り成す5つの要素

コンプライアンスの徹底

建設業界が「貢献度は高いが、好感度は低い」との評価をこれまで受けてきたことは事実ですが、社会や人の生活を支える仕事の責任の重さを考える時、信頼される企業への努力の大切さを改めて認識しています。コンプライアンスの徹底とは、諸法令の遵守は当然として、さらに高い企業倫理に貫かれた誠実な企業を社員一人ひとりが目指すことです。

P.10 ~

働くことに誇りを持てる会社

建設業は、多くの職種の協力会社の人々と一体となって工事の完成を目指して努力しており、まさに一人ひとりの能力が財産と言えます。多くの人々が働く現場が、安全で相互に信頼し合え、かつ私たちの仕事为社会を支えているとの使命感に満ちた「働きやすく誇りある」現場であるよう、環境の整備と意識の啓発に努めています。

P.12

地域社会との共生

建設業は、工事の近隣を含む地域社会の理解と協力なしには円滑な事業遂行ができません。なお、自然災害大国の日本において、自然災害発生時における主体的役割や、備えも建設業に期待されるCSR活動の例です。

P.13

地球環境保全と環境創造

建設業は資源多消費産業であり、自然環境に手を加えることが多い産業です。環境に対しては常に感度が高く、礼儀正しい企業でありたいと思っています。地球環境の保全は「次世代への責務」と考え、顧客への前向きな企画提案とともに、日々の事業活動における環境負荷の低減に注力していきます。

P.14 ~

ステークホルダーとのコミュニケーション

建設業界はこれまで社会的使命や日々の事業活動について、必ずしも積極的に社会に対して発信してこなかった部分があります。誠実な情報発信もまた企業への信頼の基本であることをふまえ、社会への関心と貢献に関してもっと積極的かつ熱心に情報発信を行い、多様なステークホルダーとのコミュニケーションを図っていきます。

P.16 ~

コンプライアンスの徹底



コンプライアンスの徹底 ～信頼される企業グループであるために～

企業には、清く、正しく行動することが、これまで以上に強く求められており、悪いことや失敗がおこらないようなくみづくりが重要になっています。また同時に、自社の行動や内容が外部からよく見える(透明性)、よく伝える(情報開示、説明責任)取り組みも必要になっています。鹿島道路は、全てのステークホルダーの皆様へ信頼される企業であり続けるため、鹿島グループの一員としてコンプライアンスを徹底し、リスクを管理しながら業務を適正に遂行するための内部統制システムの整備を推進しています。

コンプライアンス・マニュアルの制定

悪いことをしないしくみの一つが、企業行動規範を作り、全役員・社員に理解と実践させることです。

鹿島道路では、鹿島グループ企業行動規範を採択し全役員・社員に鹿島グループ企業行動規範の記載された小冊子を配布し、2010年初頭には実践の手引きを改訂するとともに、通達を発し、イントラにも掲載してコンプライアンス意識の徹底を図りました。

談合防止体制の運用の強化

鹿島道路では、2007年8月に談合防止体制を整備し、公共工事などにおける入札プロセスの明確化、各段階での決定経緯の記録・保管を義務付けるとともに、社外会合の参加にも一定の制限を設けています。この遵守状況をチェックし、法令違反を疑われる行為を行っていないことを確認するとともに、毎年4月1日付で営業に携わる役員・社員から談合を行わないことの誓約書の提出を求めています。また、毎年鹿島建設で主催する独占禁止法研修会にも営業担当者を対象として出席させて法令順守の意識の啓発を図っています。

反社会的行為の根絶

鹿島グループ企業行動規範において、暴力団対策法等の趣旨に則り、暴力団を始めとする反社会的勢力と一切関係をもたないことを宣言しています。協力会社(数次に渡る場合を含めて)としても一切使用しません。また、「暴力団を恐れぬ」「暴力団に金を出さない」「暴力団を利用しない」の「3ない」を行っています。

企業行動規範の浸透

鹿島道路では、毎年1回鹿島建設からのeラーニングによる研修で、「鹿島グループ企業行動規範」がどのように理解され、浸透しているかを確認しています。

2011年は、1,638名が受講を完了しています。今後も定期的にも実施する予定です。

協力会社との適切な取引

建設業では、施主から工事を直接発注される元請会社が品質や工程を確保するために工事を管理し、専門職である協力会社に各工程・作業を発注して工事を施工します。適正な施工体制のもとで運営すること、協力会社との契約締結・履行を徹底し、信頼関係を持つことが大切です。取引上の地位を不当に利用し、通常必要と認められる原価に満たない金額で協力会社と請負契約を締結することや、下請代金の支払を遅らしたり、一般の金融機関による割引を受けることが困難と認められる手形の発行を行いません。

内部通報制度の整備

鹿島道路では、役員、社員などによる法令違反や不正行為の発生(あるいはその兆候)を知った者から直接通報を受け付けるホットライン「企業倫理等通報制度」を整備しています。また、鹿島グループとしての鹿島建設への通報制度も併せて完備しています。

情報セキュリティと企業としての信頼

鹿島道路では、顧客および取引先の信頼を得るため個人情報をはじめとした顧客情報や、企業情報などを保護する目的で、「情報セキュリティポリシー」を制定しています。それは情報セキュリティ規程と情報セキュリティ対策行動規範及び情報セキュリティ実施要領によって構成されています。これは、社員が情報資産をどのような脅威からどのように守るか基本的な考え方と、情報セキュリティを確保するための具体的な行動を示した規程です。

実際には、情報セキュリティ強化対策ハンドブックを使った対面教育やネットワークを利用したeラーニングを通して、情報セキュリティの啓蒙教育を行っています。また、全社で定期的な情報セキュリティパトロールを実施して、その効果を確認しています。



2010年度の活動内容

2010年 7月	情報セキュリティeラーニングの実施(全社員)
2010年 8月	情報セキュリティ自己点検の実施(全社員)
2010年 11月	情報セキュリティパトロールの実施(本店、支店)

社員VOICE

九州支店 事務部 事務主任
廣田 博史

九州支店では、情報セキュリティにおけるリスク管理において、全事業所を挙げてセキュリティの強化に努めております。情報セキュリティポリシーの一環として、PCユーザーを問わず鹿島グループ「情報セキュリティ強化対策ハンドブック」やイントラネットの「情報セキュリティポータルサイト」のツールを有効活用し教育訓練を行っています。また、新規の採用や研修等でも情報セキュリティについて教育の機会を設け、情報セキュリティの重要性を理解して貰っています。2011年度九州支店のセキュリティ重点施策としてファイルの暗号化を指導・徹底し社員の情報漏えいの防止に努める環境を作っています。



内部統制への対応

会社法におけるリスク管理

リスクを把握・特定することから始まり、把握・特定したリスクを発生頻度と影響度の観点から評価した後、発生頻度と影響度の積を評価の尺度としたリスクの種類に応じた対策を講じます。また、仮にリスクが実際に発生した際には、リスクによる被害を最小限におさえる措置を講じます。

活動内容

1. 鹿島道路として毎年5月に各部署、各支店、子会社「リスク自己点検実施計画書」を作成し、鹿島建設へ提出する。
2. 計画書に基づき実施した結果を3回/年(9月、1月、3月)監査室へ提出する。
3. 期末(3月)近くに取り纏めの上実施記録を鹿島建設に提出する。
4. 期末(3月)に「リスク管理委員会」を開催し取締役会に諮る。

金融商品取引法における自己点検

全社的内部統制(決算財務・IT統制・5つの業務サブプロセス)の運用状況の自己点検を実施し、不備事項が発見された場合は、改善確認と再評価を実施します。

活動内容

1. 監査室が各支店(合材は除く)の業務プロセスについて自己点検結果に基づき評価をする。
2. 鹿島建設、監査法人から金融商品取引法に関する監査を受け、結果について取締役会に諮る。

会計業務監査の実施

支店・事業所の監査に加え、本店・子会社の会計業務監査を実施します。(法規・社内規定・ルールの遵守度をチェックする)

活動内容

期首に計画書を作成し毎月2つのグループに分け規程、ルールからの逸脱がないかどうかを監査し、社長他役員に報告書を提出する。改善を要する点については関連部署にも報告する。

働くことに誇りを持てる会社



技術者の育成

各職場におけるOJTを基本として、中長期的な観点から、社員の成長に合わせて、各段階での基礎知識、専門知識を取得することを目的とした集合教育を行っております。

技術系(土木)社員の集合教育

	基礎教育			一般教育	特別教育
	1年目	3年目	5年目	10年目	10年以上
新入社員研修	3年次フォローアップ研修	5年次フォローアップ研修	中堅社員研修	工事課長研修 出張所長研修 営業所長研修	

OJT

社内研修の受講者の感想

建設業界の先行き不安の中、安定した経営ができる営業所となるよう努力して行きたい。夢と希望を持って入社した鹿島道路です。最後まで社を愛し、誇り高き社員の育成を行ない、率先垂範で頑張りたい。(47才・所長経験4年)



社内研修の様子

社員VOICE

生産技術本部海外事業部
深澤 順平

【現在の業務】

工事名：アルジェリア東西高速道路建設工事
施工箇所：アルジェリア
従事役職：舗装工事担当
施工内容：舗装全般(主な工種：セメント安定処理路盤、路肩路盤、基層、表層)、付属物設置工



【海外工事を選んだ理由】

鹿島道路で培った舗装技術(経験と知識)を生かし、他国との交流を深めるとともに海外地域への社会貢献に役立ちたいと思いました。海外工事に携わってみての感想は社会整備が発展していない国々において、現地住民や工事に関わった人々と辛苦をともに完成させた道路・建造物には、何物にもかえがたい達成感と充実感があります。

【今後の仕事に対する意気込み】

これからも仕事に関わるあらゆる人たちに尊敬と感謝の気持ちを忘れず、仕事に精進していきたいです。また、鹿島道路の発展と向上に寄与できるよう、日々自己研鑽に励みたいと思います。

ワークライフバランスの推進

鹿島道路では、男女を問わず育児・介護休業法に基づく育児休業制度等の利用者の増加を図るため、社員への周知と利用しやすい職場環境の整備を一層推進し、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画に則り、ワークライフバランス実現に向けて取り組んでいます。

【計画内容(計画期間:2011年4月1日~2015年3月31日)】

- (1) 育児・介護休業法に基づく育児休業等、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業など諸制度の周知
- (2) 所定外労働の削減のための措置の実施
- (3) 子供が親の仕事を理解する仕組みを整備

■育児休業制度を利用した女性社員に聞いてみました

Q1. 実際に育児休業を取ってみて、どのようなことを感じましたか?

取得する前は、正直不安でしたが、休業中でも、税金の事、お金の事、その他書類の事など色々会社からのサポートがあり、とても心強く感じました。又、期限がきたら職場復帰というのが頭にあるので、その点も安心でした。

Q2. 職場復帰以降はどのような制度面のサポートがありますか?

子供が3歳までは短時間勤務が可能だったり、子供が病気の時には5日間の「子供の看護休暇」の制度も有ります。

死亡・重篤・重大災害“ゼロ”

安全衛生方針に則り、重点実施項目を展開し、具体的活動を実施しました。2011年度も継続して実施し、死亡・重篤・重大災害ゼロを目指します。

【活動内容】

【教育の充実による災害・事故の予防対策】

1. 各種教育を通じて、安全衛生・環境関連法規及び会社方針、社内基準等の周知と社員・協力会社の意識レベルの引き上げを実施
- 【定期的現場点検と一貫性のある継続的指導】
2. 安全・環境パトロールでの定期的現場点検と指導を実施
- 【再発防止対策の充実】
3. 類似災害を防止するために災害・事故事例を迅速に展開
- 【産業廃棄物の適正処理】
4. 建設廃棄物の適正処理に関する教育と現場での建設廃棄物適正処理の指導を実施

地域社会との共生



地域社会貢献

学校給食センター(宮城県)

名取市内の小学校11校、中学校5校に毎日7千食を供給する同センターは、東洋食品が中心となって設立した特別目的会社(SPC)の「株式会社 名取学校給食サービス」によって2025年まで15年間運営されます。鹿島道路ではこのPFI事業に同じく参画する県内建設会社とともに建設を担当しました。



名取市学校給食センター

キッズISO 14000プログラム

鹿島道路では環境教育の支援に積極的に取り組んでおり、2010年度は中四国支店・山口合材製造所が主体となって山口県の光市立上島田小学校に環境出前授業とプログラムの入門編を実施しました。



キッズISO 14000プログラムとは、国際芸術技術協力機構(ArTech)が開発し、国連大学と共同で、国内及び国際的に展開しているISOが認めた唯一の環境教育プログラムです。

地域イベントへの参加

除草プロジェクト2011 in 高岡中

2011年3月に、国道155号バイパス歩道部の除草作業とモニュメント周りの自然土舗装を行いました。冷たい北風が吹く中、愛知県豊田市立高岡中学校3年生146名と国土交通省職員、協力会社の参加により、卒業する生徒に思い出に残る活動になりました。



除草プロジェクトの様子

社員VOICE

九州支店 宮崎営業所 監理技術者
村田 冬樹

工事名：宮崎自動車道 高原～田野間舗装補修工事

施工箇所：宮崎県宮崎市都城市

新燃岳噴火降灰除去作業に従事する社員の声
【降灰作業の作業の内容】

宮崎自動車道には砂のような火山灰が急激に降り積もり、すぐに安全のため通行止めとなりました。翌日までは2~3cm程度の灰が降り積もり、これらの灰の除灰作業を行いました。舞上がった灰により視界がまったくなく作業となり、防塵マスク装着により呼吸の苦しい中での作業でありましたが、NEXCO、NEXCOパートナー会社、道路建設業協会、そして鹿島道路が一丸となり、なんとか4日間の通行止めという早期復旧をすることができました。



【これからの仕事に対する意気込み、抱負、想い等】

災害があったからではありませんが、顧客から信頼される人間になりたいと思います。そのためには顧客とのコミュニケーションが大事と考えています。そして『いっしょうけんめい』『きつと伝わる』という心で思うことで顧客を好きになることが大切だと思います。この思いが社内や後輩に伝えていけるように頑張りたいと思います。



地球環境保全と環境創造

地球温暖化防止への貢献

モーダルシフトによるCO₂削減

川崎アスコン及び神戸合材製造所ではプライベートパス（専用岸壁）による、モーダルシフト（自動車輸送から船舶輸送への切り替え）により、各種リサイクル材の出荷や原材料の入荷を、主に海上輸送へシフトすることで、陸上輸送における「排ガス」、「騒音」、「交通渋滞」などの環境負荷を低減させ、CO₂削減に努力しています。

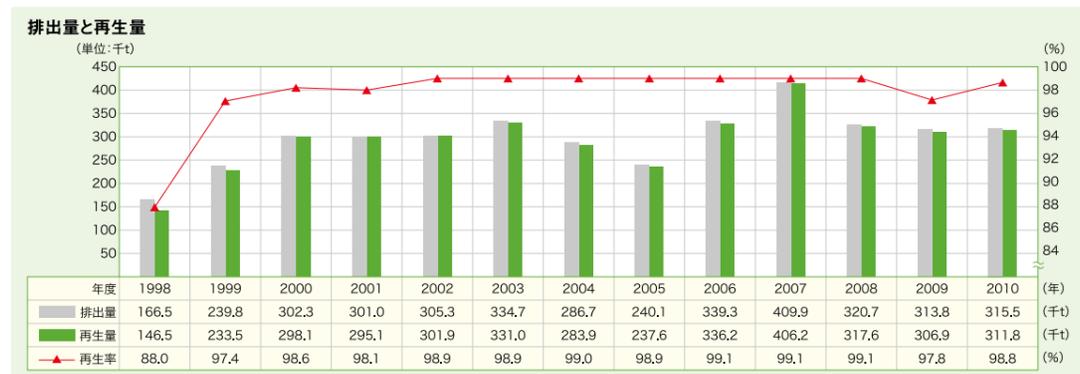


神戸合材製造所専用岸壁

MODAL SHIFT
2010年度実績
輸送量 63,547(千トンキロ)
CO₂削減量 8,583(t-CO₂)

産業廃棄物排出量と再資源化(再生)率

2010年度の産業廃棄物排出量は31.6万t(下図)で、内訳はアスファルトコンクリート塊とコンクリート塊が96%弱と大半を占めています。鹿島道路では廃棄物を「少なくすること(Reduce)」、「そのまま使えるものは使うこと(Reuse)」、「手を加えてまた使えるようにすること(Recycle)」(3R)が重要と考えており、循環型社会への取り組みとして全国に中間処理施設を設け、アスコンやコンクリートのリサイクル事業を展開しています。



環境マネジメントシステムの目標と実績

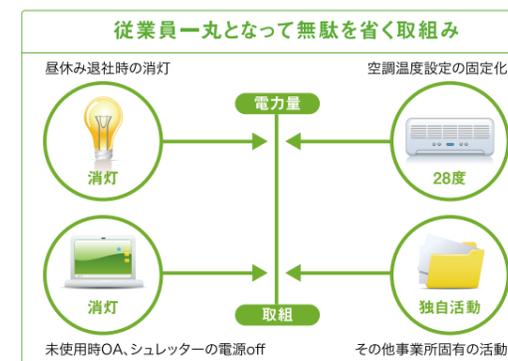
	項目	2010年度目標	評価	2010年度実績
施工(土木)	建設廃棄物リサイクルによる環境負荷の低減 グリーン調達推進	17,700千円/億円	☹️	12,767千円/億円
	地球温暖化防止への寄与 CO ₂ 削減率	標準排出量から1.0%削減	😊	2.4%削減
施工(建築)	廃棄物の増加抑制 混合廃棄物の削減	5.0%削減 6.08t/億円	😊	8.0%削減 5.89t/億円
製造	再生骨材使用率の向上	1.0%増	😊	0.7%増
	CO ₂ 発生量の削減 製造量1t当たりのCO ₂ 発生量の削減	1.0%削減	😊	7.0%削減

😊 達成 😊 概ね達成 ☹️ 未達成

オフィス環境負荷低減活動の実施

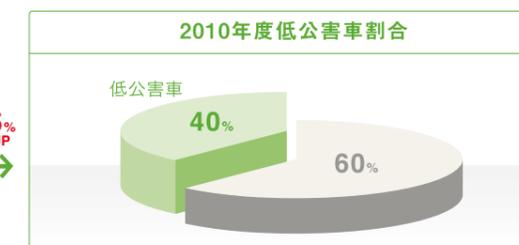
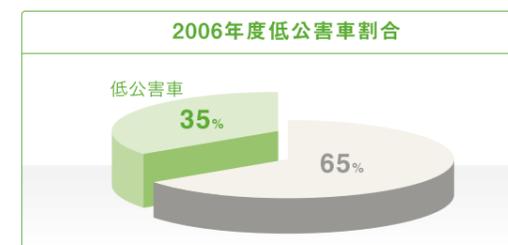
電力量低減、グリーン調達の推進

鹿島道路では、オフィス環境においても様々な環境負荷低減活動を実施しております。日常管理项目的なもので、電気使用量削減やオフィスのグリーン調達など、また、低公害車の導入においても努力をしております。別の見方をすればオフィス環境もCSRの一環としてとらえております。オフィスにおける省エネルギー・省資源を実行するために、鹿島道路では以下のような取り組みを行っています。



低公害車の推進

オフィス部門におけるCSR推進活動の一環として、地球環境への負荷が少ない低公害車の推進に取組み、毎年、確実に成果をあげています。2006年度低公害車割合35%に対し、2010年度は5ポイントUPの40%となり、台数にして10台増えました。



	項目	2010年度目標	評価	2010年度実績
設計	環境に配慮した設計の推進	3件	😊	3.6件
開発	環境関連技術の開発推進 2010~2012年度までの累計完成開発件数	2件以上	☹️	1件
オフィス	オフィスにおける環境負荷の低減 グリーン調達率	53.4%	😊	59.9%
営業	CO ₂ 削減工法販売によるCO ₂ 削減 CO ₂ 削減量	250t/年	😊	825t/年
	土壌浄化工事の受注による環境負荷の低減 土壌浄化工事の受注件数	85件/年	☹️	37件/年

😊 達成 😊 概ね達成 ☹️ 未達成

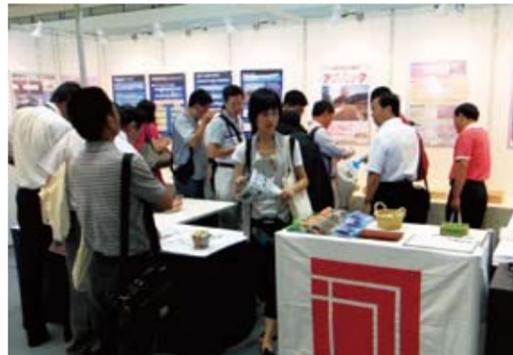
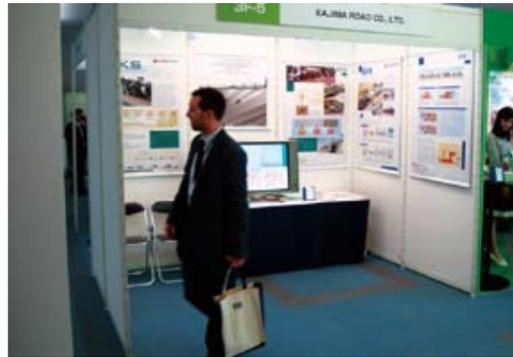
ステークホルダーとのコミュニケーション



社会へ ~to community~

ISAP NAGOYA 2010開催

2010年8月1日～6日まで、名古屋市の名古屋国際会議場において、第11回国際アスファルト舗装会議 (ISAP 2010名古屋会議) が開催されました。本会議では、メインテーマである「環境と安全」に関する288の論文が発表されました。鹿島道路においては受理された9編(連名を含む)の論文のうち、5編について発表を行いました。会議の期間中、鹿島道路は2つの技術展示ボックスを設営しました。アスミックには、中国、韓国他アジア各国の公社の方々、また、多機能路面測定システムには、国内、学校関係、官公庁の方々に興味をもたれていました。



社員VOICE

技術研究所
富澤 健

世界の道路関係者との技術交流は、私にとっては昨年韓国で開催されたREAAA(アジア・オーストラレイシア道路技術協会)に続き2回目の経験となりますが、鹿島道路保有技術のひとつであるセメントスラリーを用いたセメント・フォームアスファルト工法(CFA工法)の開発について発表し、活発な意見交換を行うことができとても光栄に思えました。今後ともこのような国際会議を通じて、積極的に鹿島道路の技術を世界へアピールしたいと考えます。



REAAAにて発表の様子

施工現場からの情報発信

ホームページ(<http://www.kajimaro.co.jp/>)で施工中の現場について情報を公開しております。工事概要、作業工程、施工現場付近の交通規制の情報を公開し、現場についての問合せも受け付けております。



お客さまへ ~to a customer~

技術誌「KIT」の発行

技術誌「KIT」を発行し、ステークホルダーへ鹿島道路の技術、施工実績、施工現場での安全への取り組みなどの情報を発信しています。



海外技術者のテクニカルツアーに協力

ISAP2010名古屋会議のテクニカルツアー一行(国内参加者25名、海外参加者53名)が遮熱性舗装を施工中の「平成21年度302号大高舗装工事」の現場へ見学に訪れました。



東日本大震災による援助の様子

3月11日に発生しました東日本大震災におきまして、当社は社員や協力会社からの募金と合わせて2,000万円を日本赤十字社に寄付いたしました。また、北日本支店において、災害復旧工事や避難所へ散水車による水の補給、仮設トイレの設置など、各地域にて復旧に向けて取り組んでおります。



全国各地で技術フェアを開催しています

ハイウェイテクノフェア2010



会場：東京ビッグサイト(東京都)
展示物：ヒートスティック工法、L・Lライン、高強度PRC版工法



建設技術フォーラム2010in広島



会場：西区民文化センター(広島市)
展示物：ヒートスティック工法、ミデアミックス舗装工法

九州建設技術フォーラム2010



会場：福岡国際会議場(福岡市)
展示物：3D-MC グレーダ、RSS

2010土壌・地下水環境展



会場：東京ビッグサイト(東京都)
展示物：ソレック栃木

EE東北'10



会場：夢メッセみやぎ(仙台市)
展示物：ヒートスティック工法、L・Lライン、ソレック栃木

第三者意見

CSRレポート発刊によせて

昨年に引き続き今年も鹿島道路株式会社のCSRレポート発刊に関し意見を述べさせて頂く機会をいただきました。鹿島道路株式会社は、単独の独立した一企業として地域の環境教育の実施を筆頭に企業全体としてコンプライアンスの徹底、企業統治も含めCSRのすべての切り口で実行されているのがこの報告書で良くわかります。また、今年ほど社会の中で道路の重要性を認識した年はないでしょう。3月11日に発生した東日本大地震と、それに伴う津波による大災害に対して「一つになろう日本!」の標語に日本全体から被災地へ向けて支援の輪が広がりましたが、実際に支援物資を運び支援するボランティアを運ぶために、まず道路をどのように確保するかが決め手となったことからわかります。これは幹線・支線に限らず「道路」が必要でした。すなわち「道路網のリスクマネジメント」が重要なのでした。近く発生が予想されている『東南海地震』に対しても同様でしょう。自然災害に対してどのような道路網を準備しておくかという、丁度電力配電のスマートグリッドに対応するような「スマート道路ネット構想」が必要です。どこを通過してゆけば被災地に行けるという通行可能道路の情報発信が必要です。被災者サイドも、いずれ行政が助けに来るかと待っていても何も来なかった例もあったようですが、行政も被災しているのですから国民一人一人が自立し助け合う必要が出てきます。

これからは「受動的CSR」から「戦略的CSR」への転換が必要となり、鹿島道路の技術力を活かした東日本大震災における復旧・復興工事に対する企業活動が「戦略的CSR」活動に繋がると考えます。本来のCSRは、本業が社会に貢献することですから、この際、上記の例のように鹿島道路(株)のいろいろな切り口で本業での社会貢献を実施されるのは如何でしょうか。人間の体で言えば、神経は通信網であり血管が道路網と言えます。環境技術という武器を駆使して「戦略的CSR」を推し進め、道路業界をリードしていく鹿島道路に期待します。

第三者意見を受けて

河邊先生、貴重なご意見をありがとうございました。

これまで、鹿島道路は「新しい価値創造に挑戦し人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する」という企業理念のもと、社会から信頼される企業を目指して活動しておりました。

これからは更に踏み込んで、河邊先生からご意見をいただきましたよう「受動的CSR」から「戦略的CSR」への転換を図り、東日本大震災における復旧・復興工事も含めて社会に貢献できる企業を目指してまいります。



国際芸術技術協力機構 (ArTech) 理事長

河邊 隆也



代表取締役副社長

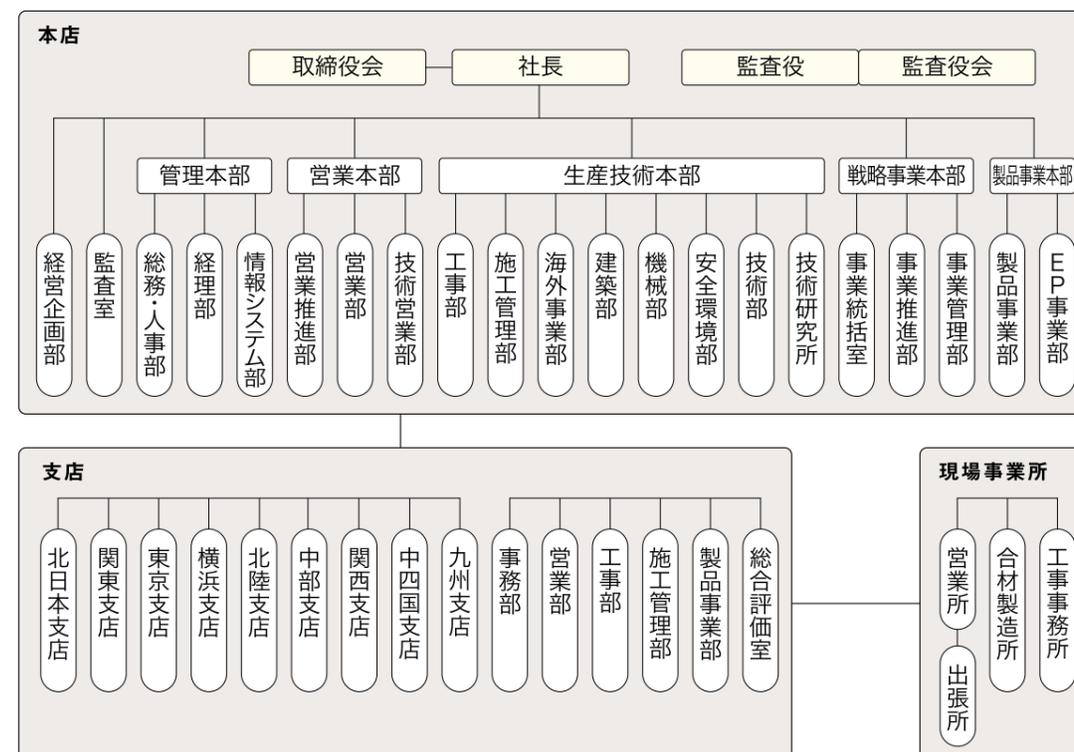
石川 誠一

会社データ

会社概要

社名 鹿島道路株式会社 KAJIMAROAD CO.,LTD. 子会社 ケイアールリース株式会社、株式会社エロードコンサルタンツ、株式会社新成工業、女神建設株式会社、有限会社熊本リサイクルセンター、神奈川建設工業株式会社、KRO Co., Ltd.
 創立 昭和33年(1958年)2月18日
 資本金 40億円
 本店所在地 東京都文京区後楽1-7-27
 代表者 代表取締役社長 滝田 裕久
 支店 北日本支店、関東支店、東京支店、横浜支店、北陸支店、中部支店、関西支店、中四国支店、九州支店

組織図



編集方針

「鹿島道路CSR報告書」は、「新しい価値創造に挑戦し、人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する」という企業理念のもと、ステークホルダーの皆様へ、鹿島道路の取り組みをより身近に感じていただきたいという思いで発行しております。また、鹿島道路は「鹿島グループ」の一員として、「鹿島グループのCSRの枠組み」に沿ってご報告しております。編集にあたっては、事務局である経営企画部を中心に、21部署24名からなる「CSRワーキンググループ」によって、本支店各部署・現場の協力のもと作成いたしました。鹿島道路のCSR報告書は今回で2回目の発行となりました。今回よりアンケートを同封しておりますので、いただいた結果を次回以降に活かして、さらに良いものになるよう取り組んでまいります。

報告対象期間 …………… 2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)当該年度以外の内容も一部に掲載しています。
 報告書対象組織 …………… 原則として鹿島道路株式会社単体の国内外全部門を対象としています。
 発行時期 …………… 2011年7月
 インターネットによる情報提供 …… 【鹿島道路ホームページ】 <http://www.kajimaro.co.jp>
 【CSRの取り組み】 <http://www.kajimaro.co.jp/corp/csr/index.html>



鹿島道路株式会社 経営企画部
〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27 03 (5802) 8003
<http://www.kajimaro.co.jp/>

北日本支店	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル	022 (216) 8501
北海道営業所	〒006-0033 北海道札幌市手稲区稲穂3条3-9-15	011 (699) 7744
関東支店	〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂4-6-9 鹿島浦和ビル	048 (872) 8001
東京支店	〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27	03 (5802) 8021
横浜支店	〒220-0001 神奈川県横浜市西区北軽井沢63	045 (312) 8061
北陸支店	〒950-0986 新潟県新潟市中央区神道寺南2-6-15	025 (243) 3851
中部支店	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-10-13 SC錦ANNEX 2階	052 (204) 0770
関西支店	〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル9F	06 (6910) 3701
中四国支店	〒730-0037 広島県広島市中区中町6-13 鹿島建設ビル2F	082 (247) 1851
四国営業所	〒761-8041 香川県高松市檀紙町1241-1	087 (885) 5800
九州支店	〒812-8665 福岡県福岡市博多区博多駅前3-12-10 鹿島建設ビル	092 (451) 4356



<ISO認証登録>

お客様のニーズを反映し、資源の有効利用・環境保護に配慮した、地球に優しい商品を提供します。



このCSR報告書は、再生紙を利用しております。



環境にやさしい大豆油インクで印刷しております。